

研究者交流支援制度 報告書

2025 年 12 月 16 日
文責：国際日本学部教授 鈴木賢志

<招聘教授・研究員の情報 / Guest Professor · Guest Scholar>

1. 氏名/Name

Juan Carlos Diaz Vasquez

2. 所属機関・職名/Affiliation (Home Organization) · Position

EAFIT 大学 (コロンビア) 准教授

3. 研究期間（入国日～出国日）/Period of Stay (from the date of entry to departure)

2025 年 11 月 26 日～2025 年 12 月 15 日

4. 専攻/Field of Research

Intercultural Communication, Intercultural Management, and Global Business Ethics

5. ホスト教員氏名と所属学部研究科等/Name of host teacher and affiliation

鈴木賢志 国際日本学部教授

6. 講演会の概要（タイトル、日時、場所、参加人数、内容）

タイトル : Colombia and its radical changes: How social investment, culture, education, technology, and tourism are reshaping a country.

日時 ①2025 年 12 月 10 日 4 限 (15:20～17:00)、②同 5 限 (17:10～18:50)

場所 ①②とも、中野キャンパス 高層棟 3 階 308 教室

参加人数 ①21 名、②24 名

内容 現在「美の国」として国際的な存在感を高めているコロンビアについて、過去 40 年間における産官学の協力による福祉・教育・文化における劇的な発展の軌跡をたどり、今後のさらなる成長の可能性を展望した。

両回とも講義は英語で行われ、通訳も入らなかったが、講義に続いて行われた質疑応答では、参加学生たちから多くの質問が投げかけられ、非常に活発で有意義な意見交換を行うことができた。

7. 研究課題、研究概要、研究期間中の活動実績 / Research Theme, Outline, Results

Vasquez教授は異文化間コミュニケーション研究という視点から、アジア地域とラテンアメリカ地域、とりわけ日本とコロンビアとの関係性のあり方についての研究をこの数年行っている。今回の訪日においては、山梨県の地場産業についてのフィールドワークを実施するとともに、上記の講演会とは別に、国際日本学部が開講している国際日本学実践科目Bにおいて、ラテンアメリカの文化を日本に広めるための方策について研究を行っている本学学生たちへの指導をも実施していただいた。

今回の訪問を契機として、アジアとラテンアメリカという、社会的・文化的な背景が全く異なる2つの地域の相互理解と交流を今後いかに進めていくかについて、さらなる考察と実践活動を積み重ねていくことが期待される。

以上